

学校の様子（2月9日 科学部 つくば宿泊研修報告）

2月6日（月）放課後に、9名の科学部の生徒が校長室に来ました。内容は、2月4日（土）～5日（日）にかけて実施した「つくば宿泊研修」の報告です。この研修は、東京都教育委員会の理数教育推進のためのプログラムSIP事業によるものです。

生徒たちは、研修で訪問した施設のうち、自分が興味をもった施設の展示などについて、生き生きと語ってくれました。「先生、この写真を見てください。すごいんですよ！」という話から、いん石の話や、人工衛星の大きさを見て宇宙の大きさを想像し、圧倒された話、「ポケットの中に面白いものがあるので取り出してください。さて何でしょう？（アウトドアで火おこしをする道具のメタルマッチでした）」などなど・・・

ここでは、参加した生徒のひとことコメントを紹介します。



<感想>

○1年生4名

- 小さな太陽を作り、発電するという研究がとても興味深かったです。
- 地図記号についての歴史や由来を知ることができて良い機会でした。
- 魅力的な展示物には今後の科学部にも自分自身にも活用できそうな発見が数多くあり、意味のある研修旅行であった。
- 普段直接見ることの出来ない鉱石や機械の仕組みに触れることが出来てとても貴重な機会でした。

○2年生5名

- 実験したくてもアイデアが思いつかなくて苦戦していたのですが、この研修旅行を通して身近な不思議ほど良い実験対象はないと思いました。SIPの実験でやりたいことがどんどん思いつきそうです。とても良い時間を過ごせてよかったと思っています。これを企画した先生方や付き添いの先生や事務室の方々、色々なことを教えてくださった方々に大変感謝しております。
- とても楽しく有意義な体験になりました。次からは自分でも博物館などに行って積極的に学ぶことを心掛けたいと思います。
- 高校生だからこそ、これまでに学んできた知識と結び合わせて、いろんな施設を見学することができました。
- あまり自分で見に行く機会のない化石、地図などのものを見て、学習になった。部活動の友人と一緒に旅行する機会としても楽しかった。
- 普段体験出来ないことをたくさん経験し、とても有意義に過ごせました。

本校の部活動のページに、2日間に訪問した際の様子を掲載していますので、ぜひご覧ください。

1日目のページは[こちら](#) 2ページ目は[こちら](#)